
5. 環境省 SBT設定支援事業

2020年度 環境省 SBT設定支援



- 19社から応募があり、うち8社に個社別支援を実施。8社中5社が認定取得

個社別支援企業一覧

食料品：明治ホールディングス
化学：バルカー／信越化学工業
電気機器：富士電機／浜松ホトニクス／エスペック
小売業：セブン&アイ・ホールディングス／ユナイテッド・アローズ

※業種内五十音順

赤文字はSBT認定取得済企業

青文字はSBT設定コミット企業

2019年度 環境省 SBT設定支援



- 35社の応募企業に対しSBT設定の説明会を開催。うち20社に個社別支援を実施。**20社中10社が認定取得**

個社別支援企業一覧

※業種内五十音順
赤文字はSBT認定取得済企業
青文字はSBT設定コミット企業

食料品 : キューピー / 日清食品ホールディングス

化学 : 高砂香料工業 / 日産化学 / ニフコ

医薬品 : 田辺三菱製薬

ゴム製品 : 住友理工

機械 : ディスコ

電気機器 : SCREENホールディングス / フォスター電機 / 富士通ゼネラル
/ 安川電機 / ローム

精密機器 : ニコン

その他製品 : 大建工業 / ミズノ

陸運業 : 日立物流

空運業 : ANAホールディングス

情報・通信業 : NTTデータ

小売業 : ファミリーマート

- 57社の応募企業に対しSBT設定の説明会を開催。うち21社に個社別支援を実施。**21社中12社が認定取得**

個社別支援企業一覧

※業種内五十音順
赤文字はSBT認定取得済企業
青文字はSBT設定コミット企業

食料品 : カルビー / 日清製粉グループ本社

化学 : **DIC** / 三菱ケミカルホールディングス / **ライオン**

医薬品 : **塩野義製薬** / **住友ファーマ** (旧 : 大日本住友製薬)
/ **大鵬薬品工業**

ゴム製品 : **住友ゴム工業**

機械 : **ジェイテクト**

電気機器 : **アズビル** / **ウシオ電機** / **日新電機** / **ニデック**

輸送用機器 : **豊田自動織機** / 三菱自動車工業

印刷 : **TOPPAN** (旧 : 凸版印刷)

その他製品 : **ヤマハ**

陸運業 : **佐川急便**

金融・保険業 : 三菱UFJフィナンシャル・グループ

不動産業 : **三菱地所**

2017年度 環境省 SBT設定支援



- 63社の応募企業に対しSBT設定の合同セミナーを開催。うち42社に個社別支援を実施。
42社中27社が認定取得、2社が2年以内の設定をコミット

個社別支援企業一覧

建設業 : 鹿島建設、住友林業、積水ハウス、大成建設、大東建託、大和ハウス工業
食料品 : 味の素、ニチレイ
化学 : 花王、日本ゼオン、ファンケル、富士フイルムホールディングス
医薬品 : アステラス製薬、大塚製薬 (大塚HD)
機械 : グローリー、ダイキン工業、ダイフク、日立建機
ガラス・土石製品 : AGC
非鉄金属 : フジクラ、YKK
電気機器 : オムロン、京セラ、明電舎
輸送用機器 : テイ・エス テック、マツダ
印刷 : サンメッセ、大日本印刷
ゴム製品 : 横浜ゴム
その他製品 : アシックス、コクヨ
陸運業 : 日本通運
海運業 : 日本郵船
情報・通信 : NTTドコモ
小売業 : アスクル、丸井グループ
保険業 : MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス、SOMPOホールディングス
不動産業 : 東急不動産ホールディングス
サービス業 : セコム、ベネッセコーポレーション

※業種内五十音順

赤文字はSBT認定取得済企業

青文字はSBT設定コミット企業

2020年度 環境省中小企業版SBT・RE100の設定支援



- 中小企業を対象として、17社の応募企業のうち15社に対して中小企業用に特化したSBTや、RE100の設定支援を実施
- **15社中10社が認定取得**

中小企業版SBT・RE100の設定支援 対象企業一覧

※業種内五十音順

赤文字はSBT認定取得済企業

青文字はSBT設定コミット企業

建設業：**八洲建設**

繊維製品：篠原化学

化学：和泉／セツ

輸送用機器：**協発工業**

その他製品：**榊原工業**

電気・ガス業：**デジタルグリッド**

情報・通信業：**ゲットイット**

卸売業：**大同トレーディング**

サービス業：**ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ／日本ウエストン／ユタコロジー**

その他企業：**イノチオホールディングス／浜田**

その他の法人：**Wood Life Company（旧：りさいくるinn京都）**

2019年度 環境省中小企業版SBT・RE100の設定支援



- 中小企業を対象として、17社の応募企業全企業に対して中小企業用に特化したSBTや、RE100の設定支援を実施
- **17社中7社が認定取得**

中小企業版SBT・RE100の設定支援 対象企業一覧

※業種内五十音順

赤文字はSBT認定取得済企業

青文字はSBT設定コミット企業

建設業 : 石井造園 / **エコ・プラン** / 三和興産 / **ジェネックス** /
都田建設 / 横浜環境デザイン

ガラス・土石製品 : 名城ナノカーボン

印刷 : マルワ / 山口証券印刷

その他製品 : カルネコ / **河田フェザー** / **三甲** / **TBM**

情報・通信業 : リーピー

卸売業 : 深田電機

サービス業 : **加山興業** / 戸田家

2018年度 環境省中小企業版SBT・RE100の設定支援



- 中小企業を対象として、中小企業用に特化したSBTや、RE100の設定支援を実施
- 応募企業数：13社のうち5社に対して個社別支援を実施
- **5社中4社が認定取得**

中小企業版SBT・RE100の設定支援 対象企業一覧

※業種内五十音順

赤文字はSBT認定取得済企業

青文字はSBT設定コミット企業

- エコワークス
- 大川印刷
- 精電舎電子工業
- 艶金
- リマテックホールディングス

■ SBT設定のモチベーション・経緯・背景

- 中期経営計画発表にあわせて削減目標も公表
- イノベーションしつづける、世の中の社会課題に対応しつづけるという姿勢を示すもの
- 今後は投資を必要とする環境対策が増えるので、その社内説得の定量的な論拠としてSBTを活用
- 環境に良いことは、顧客サービス向上になる。
商品の電子化により、利便性・省エネ性を高めることが可能

■ SBT設定に対する内外からのプレッシャー

- 業界内で上位という自負があるので、● ● 社がSBTの認定を得ている状況を、経営トップも無視できない
- 役員報酬の中長期業績連動で、サステナビリティ評価が加味されるようになった
- CDP評価の影響力の大きさを痛感している
- シェアの大きい● ● 業界から● ● 用● ● の製造における排出量を下げることを求められている。他者との競合もあるので、サプライチェーン上のビジネスリスクが大きい
- IR部門から、「機関投資家の半数が海外の投資家であり、削減目標を何故作らないのか」と問われた

■ 設定と実践に向けた課題、工夫

- なぜその目標なのか、**経営方針、経営計画、事業に結び付けたストーリー**が必要。ビジネスにとっての将来のリスクと機会がつかめるよう、社会の環境分野の将来像を示す青写真がほしい
- 削減策と根拠が伴った数値目標にしたい
- **自社の社員にも訴求**できるようなものにしたい
- 設定前の省エネ対策の成果は含められないのでなかなか難しいが、**子会社や、再エネの低価格化が進む海外拠点は、削減余地は大きい**と判明

■ 一社の努力だけではできない、企業間連携や社会全体の変革が必要

- 目標達成は一社だけの削減努力だけではなく、企業が協同して排出量を減らしていく必要がある
- 削減の肝になるのが●●●（省エネ製品）が政府目標の●●%まで普及できるのかどうか（消費者の消費行動の変化も重要）
- 技術革新、電力会社の係数の変化、再エネ調達環境の変化、カーボンプライシング等を想定。カーボンプライシングがかけられれば、十分な投資効果が得られる

■ 再エネ電力に関して

- 製造プロセスでの省エネ対策は限界に近く、**製造プロセスの周囲の対策（自家発電、再エネ導入）**が必要
- ロケーションベース、マーケットベースどちらかに一本化する必要がある。再エネ電力購入の効果を活かすのであれば、マーケットベースの方が良いと考える
- 営業車の**EV化**を進めていくが、電力原単位の影響を強く受けるので、**再エネ調達**も視野に入れている